

**【研究主題】**

**義務教育9年間で資質・能力を育成する  
ための教育課程の再構築に関する研  
究開発**

**文部科学省研究開発学校（延長3年次）**

**京都教育大学附属京都小中学校**

2002

小中一貫教育の教育課程と  
学校システムの研究に着手

2010

キャリア教育を中校に据えた  
小中一貫教育学校としてスタート

2017

国立大学附属学校で初の  
義務教育学校に移行

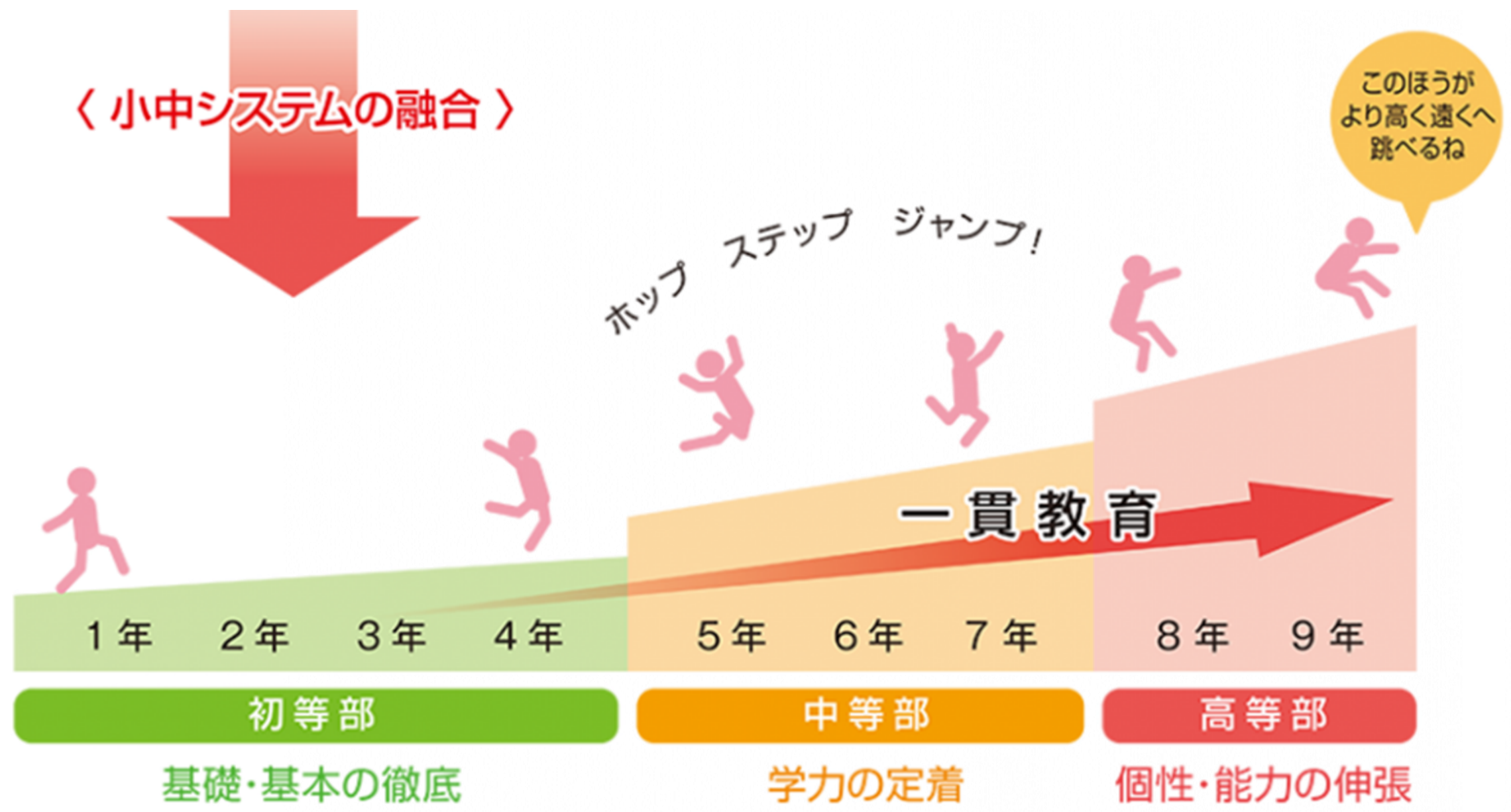
2018

文部科学省研究開発学校指定  
(4年間)

2023

文部科学省研究開発学校指定  
(延長3年間)





学校教育目標

未来の社会に躍動する生徒の育成

急速にグローバル化、情報化する21世紀型社会において、社会の変化に対応しつつ、主体的に社会と関わり、国際社会の形成者として必要な資質・能力を、次の5つの柱を中心として総合的に育成する

(1)

高い知性

(2)

豊かな感性

(3)

柔軟な創造性

(4)

逞しい心身

(5)

敬愛の精神

「キャリア教育」の理念を中核として

# 研究開発課題

1

義務教育 9 年間で  
育てるべき  
資質・能力の  
検討と改善

2

発達の段階に応じた  
各教科における  
学習の目標と内容の  
検討及び再構築

1

## 研究仮説

2

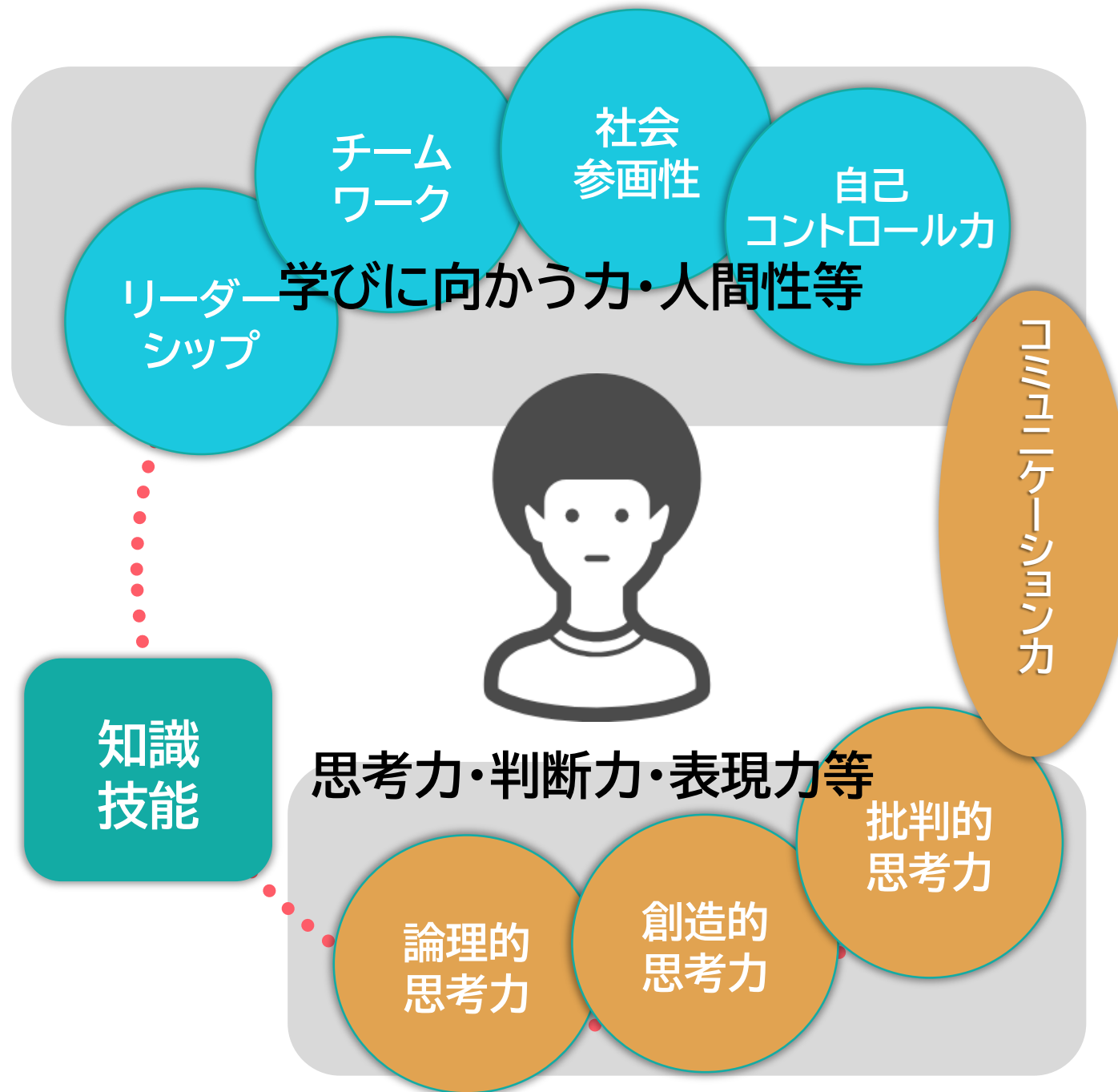
各教科で身に付けた資質・能力  
を活かす場として、  
生活科・総合的な学習の時間を  
中核においた、  
資質・能力ベースの  
義務教育カリキュラムの構築

資質・能力ベースでの  
学びの開発

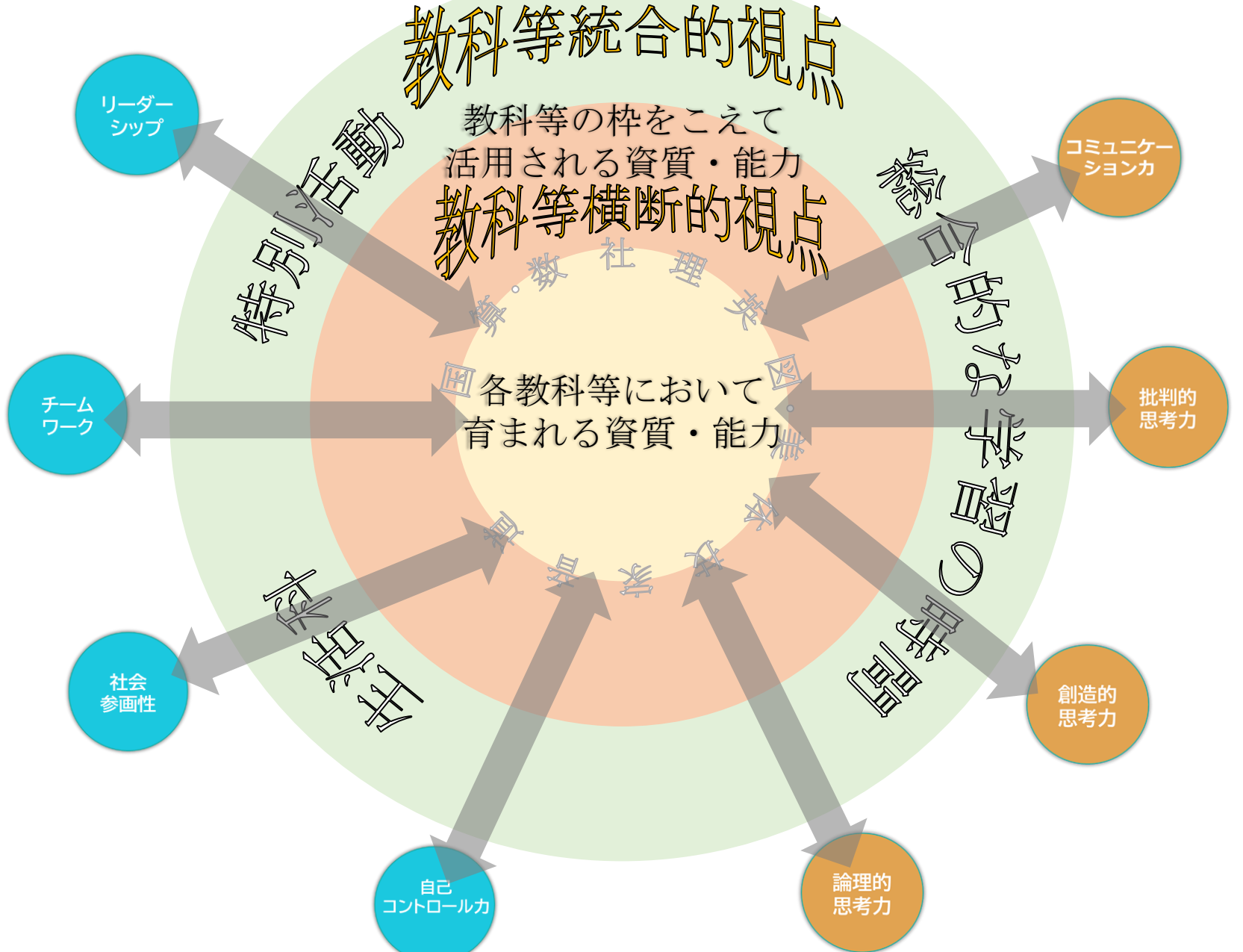


本校が目指す生徒像





自分たちの周りにある問いや現代的な諸課題に  
対応するために求められる資質・能力





1 年

2 年

3 年

4 年

5 年

6 年

7 年

8 年

9 年

初 等 部

中 等 部

高 等 部

生活科や他教科  
との関連性

3年生からの家庭科

3年生からの技術科(情報分野)

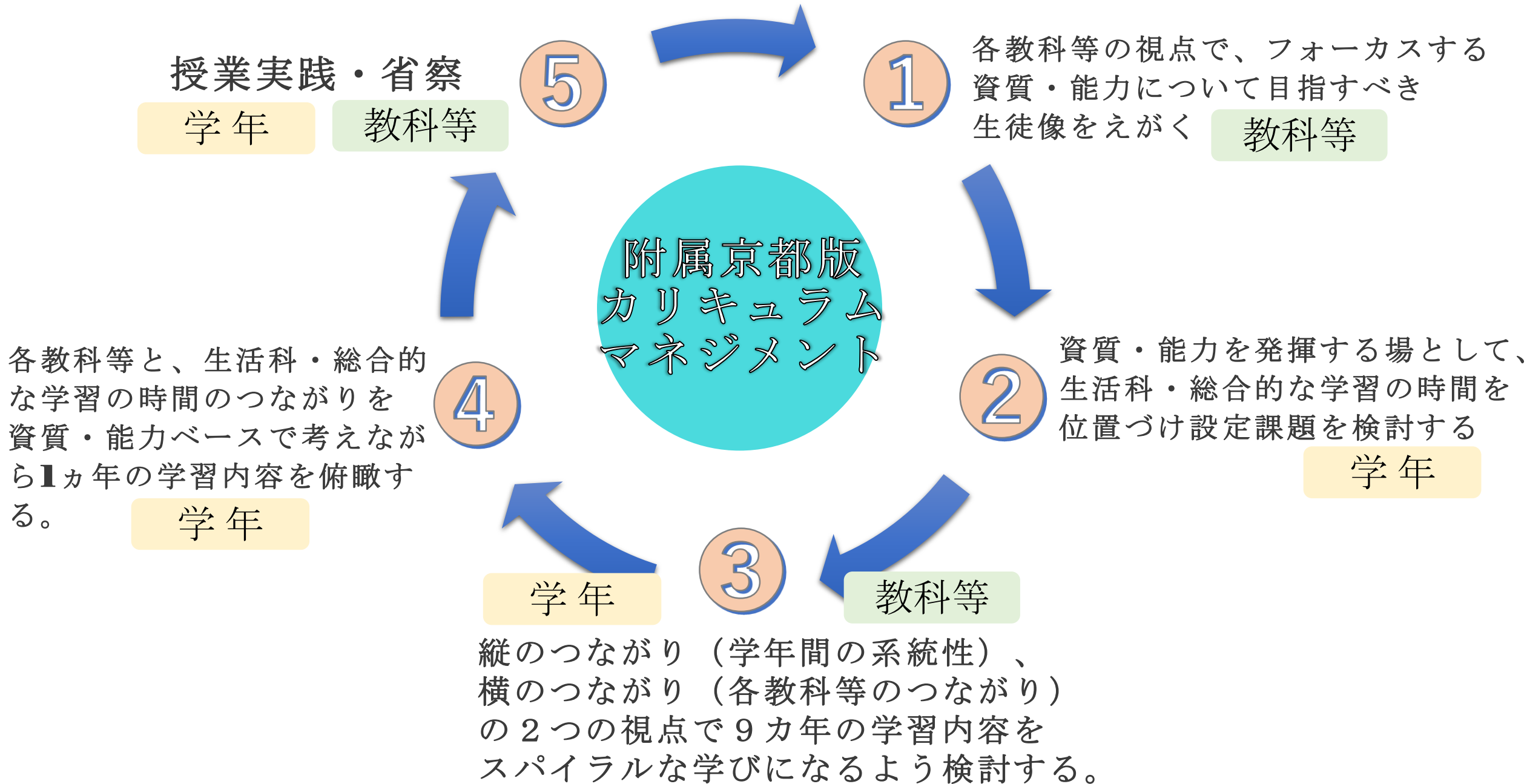
第3学年から第6学年の各教科  
(国語・算数・社会・理科)のプログラミングに関する  
学習内容を技術科の学習する内容として再編

生活科・総合的な学習の時間（特別支援学級は「せいかつ」）を中核においたカリキュラム

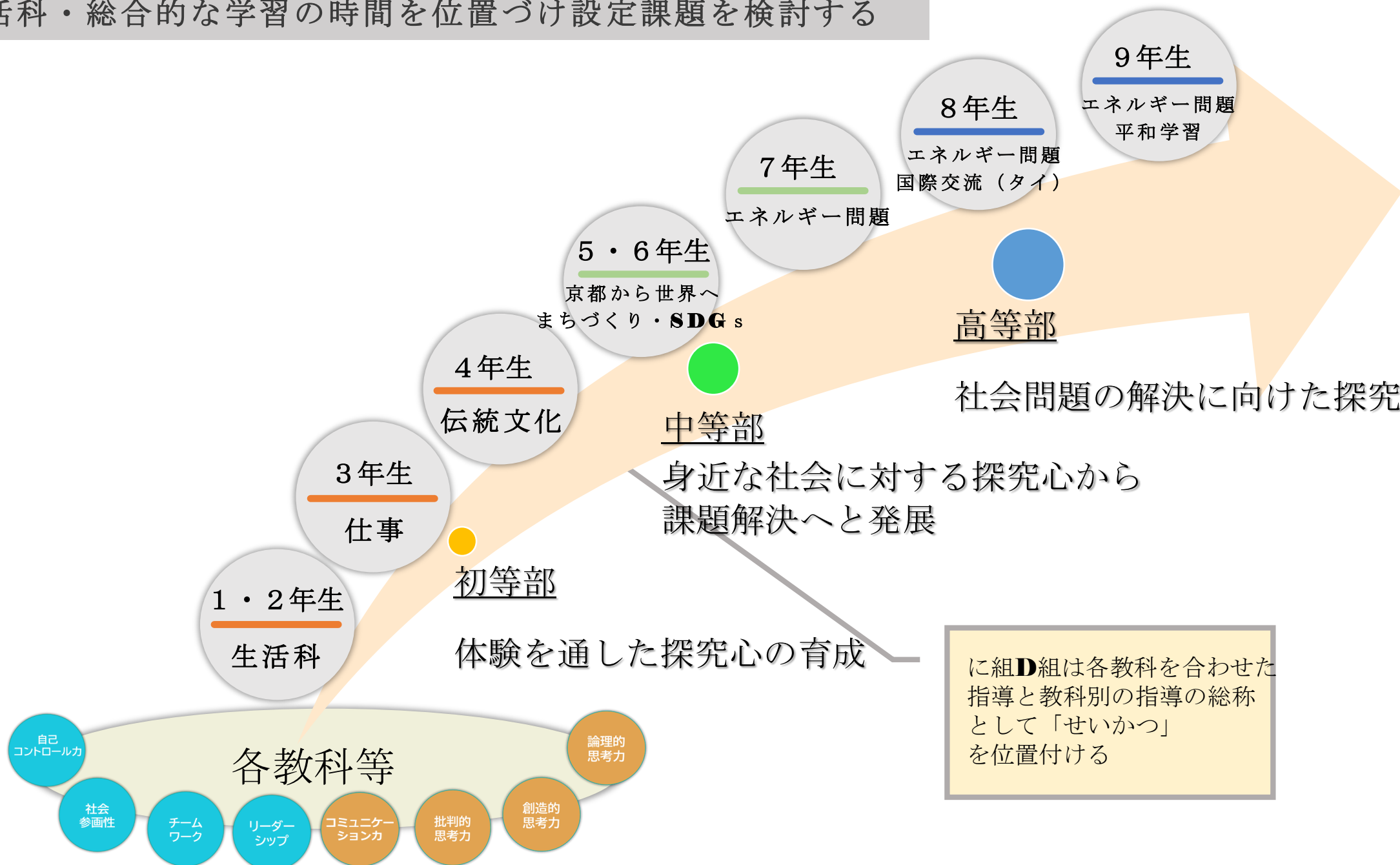
6年生からの社会科 歴史領域通史

カリキュラムの整理によってうまれた余白を、  
探究的な活動や総合的な学習の時間にあてる

1年生から英語科（1年生～6年生 週3回のモジュール学習）



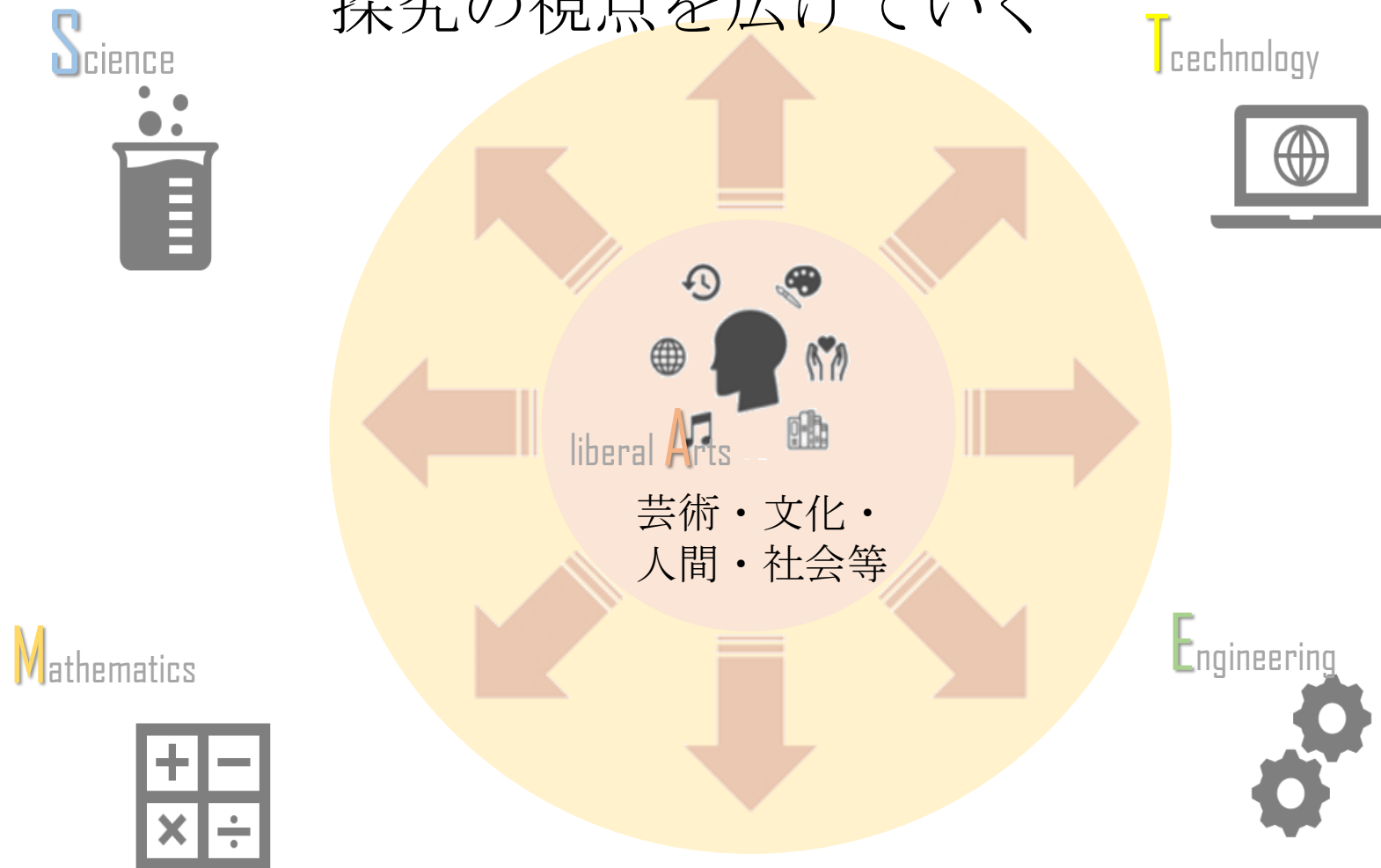
② 資質・能力を発揮する場として、  
生活科・総合的な学習の時間を位置づけ設定課題を検討する



未来の社会に躍動する生徒の育成



**A**（リベラルアーツ）を円心に、  
探究の視点を広げていく



社会への価値の創出を可能にするために  
探究の視点としての**STEAM**

③ 縦のつながり（学年間の系統性）、横のつながり（各教科等のつながり）の2つの視点で9カ年の学習内容をスパイラルな学びになるよう検討する。

資質・能力をベースに  
各教科と関連付けていく

		4年生							
教科		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
国語	こんなところが同じだね(1) 春のたつぷりてみよう(1) 場面と場面をつなげて読み、考えたことを話し合う「白いぼうし」(8) 図書館の達人になろう(1) 漢字の組み立て(2) 漢字辞典の使い方(2) 春の楽しみ(2)	聞き取りメモの工夫(6) 漢字の広場①(2) 筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう「思いやりのデザイン」「アップとルーズで出せる」【じょうほう】「考えと例」(9) カンジーはかせの都道府県の旅(1)(2)	お乳の乳持ちを伝えよう(7) 漢字の広場(2)(2) 場面の様子にくらべて読み、感想を書こう「一つの花」(8) つなぎ言葉のはたらきを知らう(2) 短歌・俳句に親しもう(1) 【じょうほう】要約するとき(2) “新聞を作ろう”「アンケート調査のしかた」(14)	カンジーはかせの都道府県の旅②(2) 夏の楽しみ(2) 事実のもとについて書かれた本を読み、「ランドセルは海をこえて」(5)	詩を味わおう(2) あなたなら、どう言う(4)	シンプレットを読み(2) いろいろな意味をもつ言葉(2) 漢字の広場②(2) 乳持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう「えんぎつね」(13)	秋の楽しみ(2) クラスの人みんなで決める(9) 漢字の広場③(2) 乳持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう「えんぎつね」(13)		
社会	都道府県の様子(10)			人々の健康や生活環境を支える事業(24)		自然災害から人々を守る活動(16)		県内の伝統や文化、自然(20)	
数学	わくわく算数(1) 角とその大きさ(8) 折れ線グラフ(6)	1けたでわる割り算の筆算(10) 一横をこえる数(8)	垂直・平行と四角形(18)	小数(9) 算数の自由研究(1)	2けたでわるわり算の筆算(11) 割合(4)		式と計算の順じよ(8) そろばん(1) 面積(10)		
理科	季節と生物 春の始まり(1) 天気と気温	季節と生物 春の始まり(7) 電池のはたらき	とじこめられた空気と水(6)	季節と生物 夏(5) 夏や月	自由研究(2)	季節と生物 夏の終わり(2) 雨水のゆくえ	夏や月 月と星の位置の変化(8) わたしたちの体と運動		
総合	伝統文化とは 大きなテーマから課題設定(6h)	「課題」に対して、発見→追究へ① 「和食」「紙風船」にテーマを絞り、調べ学習をすすめる。(12h)	調べ学習→まとめ① 調べて分かったことの整理・交流(12h)	「探究」→追究② 「ゲストチャーチャー授業」和食とは(14h)			追究→まとめ 同じテーマごとにグループで発表 「ボスターセッション」も考え、まとめていく。		
音楽	音楽のつくりかたを学ぶ(4)	いろいろなリズムを聴く(6)							
図工	いろいろな図工を学ぶ(4)								
体育	いろいろな体育を学ぶ(4)								
美術	いろいろな美術を学ぶ(4)								
生活科	自分の生活と生活時間(1)	自分自身をふり返って(2)	食べて元気に(4)						
英語	私の誕生日はいつですか？ When is your birthday? My birthday is ~.								
総合	自分の生活と生活時間(1)	自分自身をふり返って(2)	食べて元気に(4)						
音楽	音楽のつくりかたを学ぶ(4)	いろいろなリズムを聴く(6)							
図工	いろいろな図工を学ぶ(4)								
体育	いろいろな体育を学ぶ(4)								
美術	いろいろな美術を学ぶ(4)								
生活科	自分の生活と生活時間(1)	自分自身をふり返って(2)	食べて元気に(4)						
英語	私の誕生日はいつですか？ When is your birthday? My birthday is ~.								

# 生活科・総合的な時間 を中心においた 単元配列表

[illegible]



④ 各教科等と、生活科・総合的な学習の時間のつながりを資質・能力ベースで考えながら1ヵ年の学習内容を俯瞰する。

思考力、判断力、表現力

批判的思考力

国語筋道を立てて(10月)  
価値を思い出す(12月)

数学データの活用(3月)

創造的思考力

国語価値を思い出す(12月)  
自分を見つめる(1月)

数学平面図形(11-12月)  
空間図形(1-2月)

音楽単元全般

美術単元全般

保体球技(12-1月)

論理的思考力

国語筋道を立てて(10月)  
価値を思い出す(12月)

数学単元全般

美術単元全般

音楽鑑賞(4-5月)、創作(8-9月)  
器楽(3月)、歌唱(1-2月)

保体陸上【短距離】(9-10月)

理科物質の姿(7-9月)、身近な物理現象(10-12月)、大地の変化(1-3月)

コミュニケーション力

音楽歌唱(6-7月)、創作(8-10月)  
鑑賞(11月)

美術鑑賞・平面表現(9月)、鑑賞(3月)  
造形あそび的活動(12月)

保体体づくり運動(4月)、球技(5-6月)  
ダンス(12-1月)、器械運動(2-3月)

学校教育目標

未来の社会に躍動する生徒の育成

2月

年間の振り返り、次年度の見通し

批自

12月

ポスターセッション、青森現地視察

批創論コリチ

社自

11月

ポスター作成

創チ

10月

調べ学習、福島現地視察

コ社

9月

学習テーマ設定

チリ

8月

外部講師による講演会 京大 角山先生、グループ決定

論リ

6月

外部講師による講演会 東大院 開沼先生

論批

5月

オリエンテーション 総合学習とは

論批

道徳科特別活動

第7学年

総合的な学習の時間

エネルギー

学びに向かう力・人間性等

リーダーシップ

音楽声部の役割

保体球技(12-3月)

チームワーク

数学平面図形(11-12月)  
空間図形(1-2月)

音楽歌唱(6-7月、12月)

保体球技(5-6月、1-2月)

社会参画性

音楽歌唱(6-7月)、器楽、創作(10月)  
鑑賞(11月)

美術デザイン(8月)、造形あそび的活動(12月)

保体保健(10-1月)

理科物質のすがた(7-9月)

自己コントロール力

国語心の動き(8-9月)  
単元全般(通年)

数学変化と対応(10月)

音楽歌唱(6-7月)、鑑賞(11月)

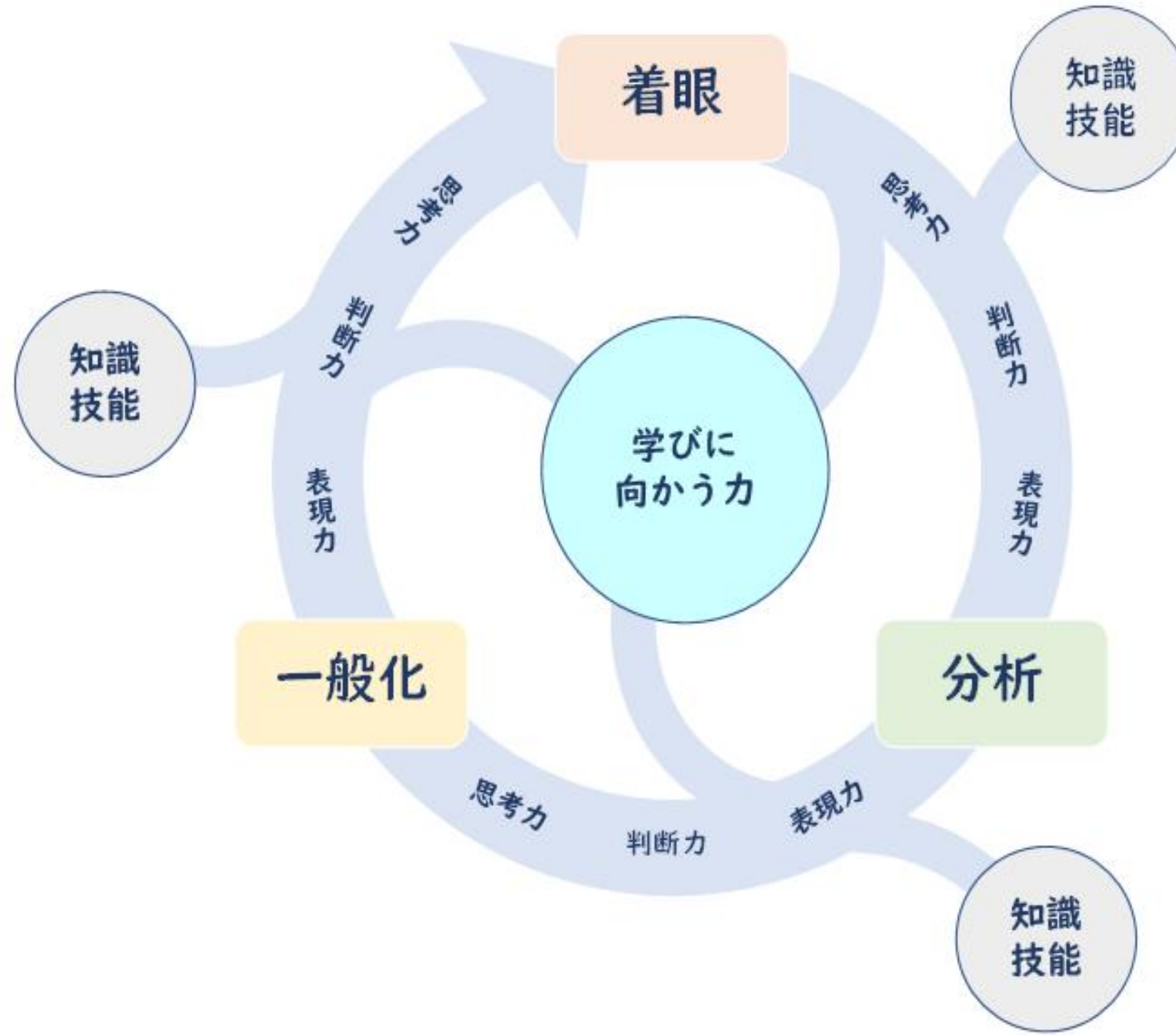
美術立体表現(6-7月)、木材工芸(1-2月)

保体水泳(6-8月)、保健(10-1月)、球技(2-3月)

理科振り返り(通年)



## 本校の提案する「考えるプロセス」



---

# 『研究開発の成果と分析』

— “量的な視点” と “質的な視点” から —

# 教育における“量的な視点”と“質的な視点”

---

## 量的な視点

- 数値や統計など客観的に学びの成果を捉えようとする視点
- 一般的な例) 学力調査や検査、アンケート調査結果 など

## 質的な視点

- 数値化が難しく、子どもの学びの観察やプロセス、規準表などにより学びの成果を捉えようとする視点
- 一般的な例) 主体的に学習に取り組む態度、発表や表現物、評価規準表、ルーブリック など

評価する対象によって適正あり。また、相互作用的に捉える必要性。



# 評価の対象を具体化

子ども	各教科等 (特に、教科、総合的な学習の時間について)	研究主題
教育活動のどの場面でどのような視点で子どもの学びを見取り、評価するのか	資質・能力の育成を軸とした授業開発・カリキュラム開発についての評価	“義務教育9年間で資質・能力を育成するための教育課程の再構築に関する研究開発”における総括的評価
質的な視点		量的な視点
# 各教科等の授業における子どもや小集団の学びの見取り # 独自のカリキュラムの編成に関する教科・領域授業での子どもの学びの見取り # 検査やアンケートにおける個別的な変容分析	# 各教科等の授業における子どもや小集団の学びの見取り # 独自のカリキュラム編成に関する教科・領域の評価 # 評価基準表における資質・能力の整理、整合による評価 # 各教科独自の検査やアンケート分析結果による評価 # 教科連携協力者等の教科教育専門家からの評価 # 研究協議会参観者からの評価	# 主体的な学びのアンケート結果 # 本校教職員からの研究についての評価 # 学校評価からの保護者評価 # 運営指導委員会、教科連携協力者等の教育専門家からの評価 # 研究協議会参観者からの評価

# 評価の対象を具体化

	各教科等	
子ども、	(特に教科、総合的な学習の	研究主題
教育活動で子どもが	【量的な視点】主体的な学びのアンケート結果	
		資質・能力を育成 再構築に関する 研究開発”における総合的評価
質的な視点		量的な視点
#各教科等 #独自のカリキュラムの編成に関する教科・領域授業での子どもの学びの見取り	【質的な視点】評価規準表と資質・能力との整合	ト結果について
#独自のカリキュラムの編成に関する教科・領域授業での子どもの学びの見取り	#独自のカリキュラム編成に関する教科・領域の評価 #評価基準表における資質・能力	の計画 #学校評価からの保護者評価 #運営指導委員会、教科連携協力の評価
#検定的な	【質的な視点】資質・能力の活用・発揮場面での経年的な見取り	の評価 の評価
	専門家からの評価 #研究協議会参観者からの評価	

# 【量的な視点】 主体的な学びアンケート

番号 質問内容

- 1 学校の学習内容を理解する自信がある。
- 2 学校の学習に取り組んでいく自信がある。
- 3 学校の学習は、得意なほうだと思う。
- 4 学校で知識を多く身につけることは大切だと思う。
- 5 解決するのが難しい出来事について、今まで知らなかったことが、わかるようになるのは楽しいと思う。
- 6 テレビやインターネット等で流れている情報について、学校の知識をもとに、一度、考え直してみることは大事なことだと思う。
- 7 解決するのが難しい出来事に関して、いろいろな疑問をもつことはおもしろいと思う。
- 8 解決するのが難しい出来事について、自分のふだんの生活に結びつけてみることは大事なことだと思う。
- 9 解決するのが難しい問題について、実際に確かめて、事実を知ることは楽しいと思う。
- 10 解決するのが難しい出来事について知ると、ふだんの生活の役に立つことが多いと思う。
- 11 解決するのが難しい問題について、いろいろと自分で詳しく調べてみたいと思う。
- 12 解決するのが難しい出来事について知った事実は、人に伝えることが重要だと思う。
- 13 解決するのが難しい問題について、実際に確かめて、いろいろと考えを深めることが楽しいと思う。
- 14 解決するのが難しい問題について、自分の言葉で説明できることが大切だと思う。
- 15 ある教科の知識や考え方を、他の教科の学習でも、積極的に活用したいと思う。
- 16 学校で学んだことは、物事が正しいか、誤っているかを判断するときに役に立つと思う。
- 17 学校で学んだ知識や考え方をもとに、人と意見交換をするのが楽しいと思う。
- 18 解決するのが難しい出来事について、実験で確かめてみることは、大事なことだと思う。
- 19 解決するのが難しい問題について、その証拠を考えながら、話し合うのがおもしろいと思う。
- 20 学校で学んだ知識をもとに、自分の周りのことについて、正しいか誤っているか、考えることは大切だと思う。



# 【量的な視点】 主体的な学びアンケート

番号 質問内容

自己効力感

価値づけ

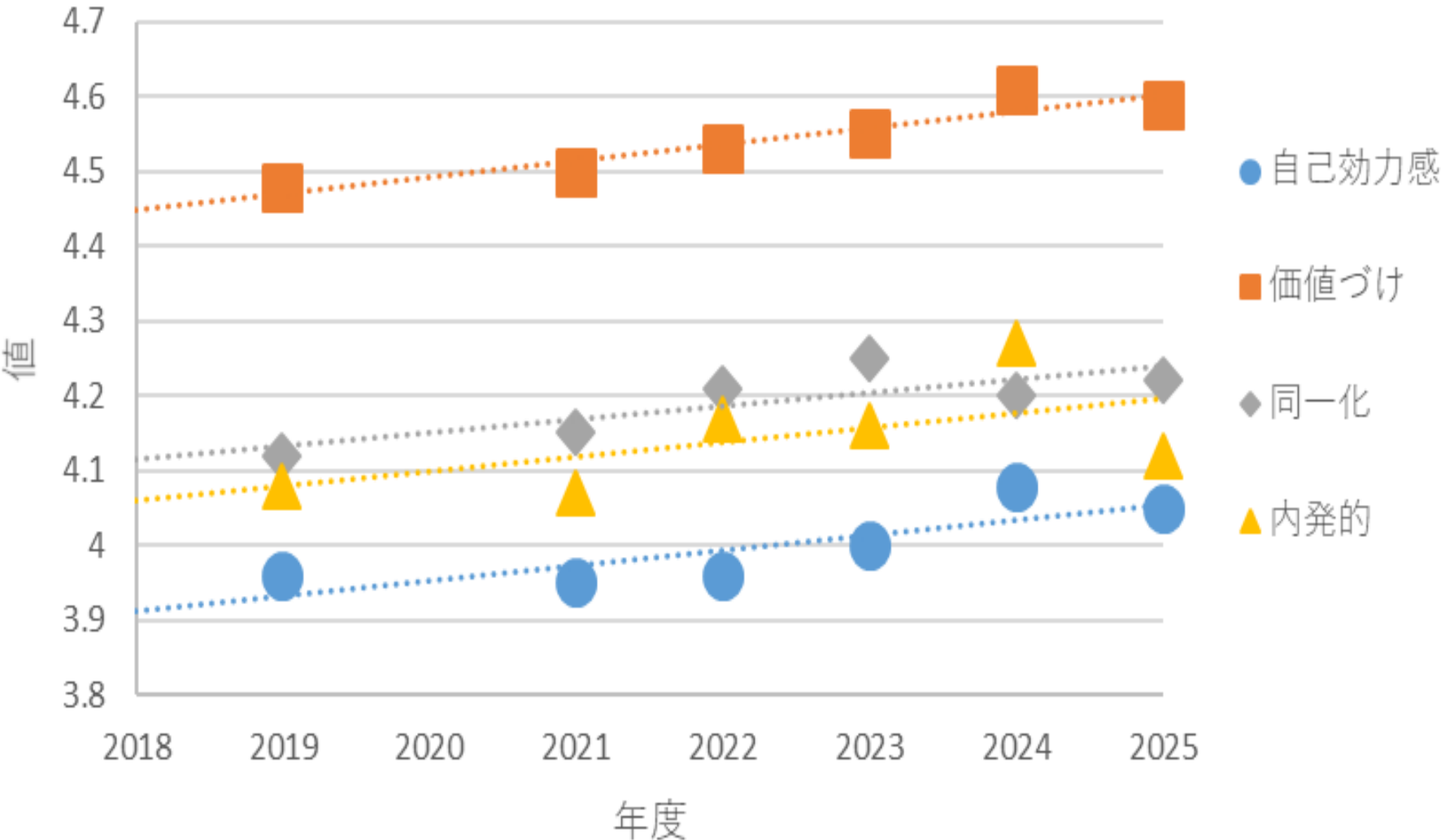
同一化的  
動機づけ

内発的  
動機づけ

# 【量的な視点】 主体的な学びアンケート

## 分析Ⅰ | 各項目における全体平均の年度ごとの推移

年度	自己効力感	価値づけ	同一化	内発的
2018				
2019	3.96	4.48	4.12	4.08
2020				
2021	3.95	4.5	4.15	4.07
2022	3.96	4.53	4.21	4.17
2023	4	4.55	4.25	4.16
2024	4.08	4.61	4.2	4.27
2025	4.05	4.59	4.22	4.12



# 【量的な視点】 主体的な学びアンケート

## 分析Ⅱ | 第9学年における年度ごとの各項目の変容

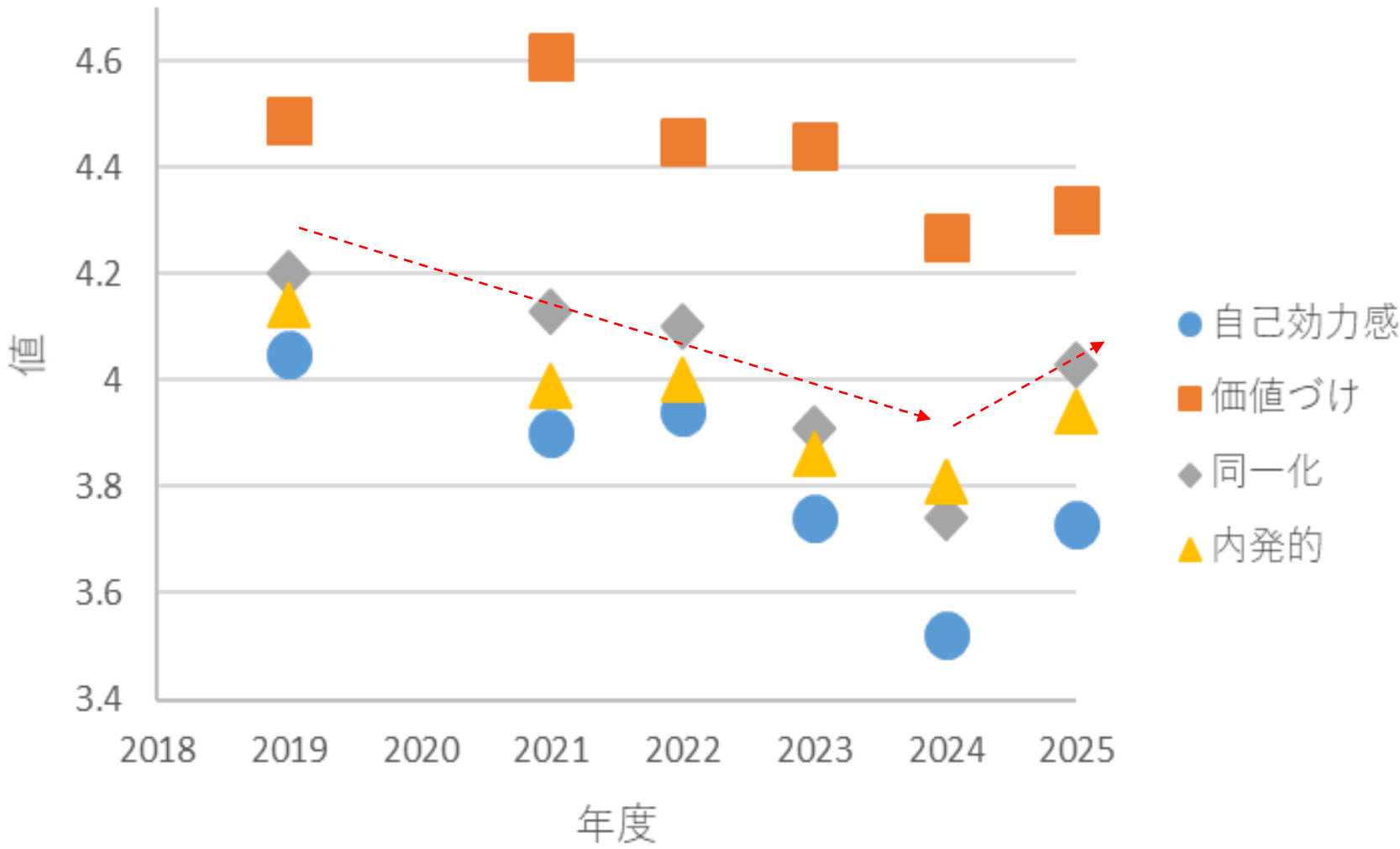
年度	自己効力感	価値づけ	同一化	内発的
2018				
2019	3.47	4.14	3.65	3.56
2020				
2021	3.6	4.22	3.84	3.81
2022	3.54	4.28	3.84	3.8
2023	3.76	4.16	3.91	3.78
2024	3.8	4.49	4.1	4.08
2025	3.73	4.32	4.03	3.94



# 【量的な視点】 主体的な学びアンケート

## 分析Ⅲ | 同一集団における（2025年度時点で第9学年） における各項目の経年変化

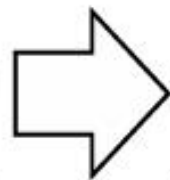
年度	自己効力感	価値づけ	同一化	内発的
2018				
2019	4.05	4.49	4.2	4.14
2020				
2021	3.9	4.61	4.13	3.99
2022	3.94	4.45	4.1	4
2023	3.74	4.44	3.91	3.86
2024	3.52	4.27	3.74	3.81
2025	3.73	4.32	4.03	3.94





# 【質的な視点】 評価規準表と資質・能力との整合

主体的に学習に取り組む態度
物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとするとともに、自然を総合的に見るができるようにする。
・身の回りの物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
・身の回りの物質について、学んだことを学習や生活にいかそうとしている。



主体的に学習に取り組む態度	リーダー	チーム	社会	自己
物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとするとともに、自然を総合的に見るができるようにする。				
・目的を仲間と共有し、達成のため仲間と協力しながら、身の回りの物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		○		○
・身の回りの物質について、 <u>既有的知識や学んだことをつなげながら深く考察し、積極的に学習や生活にいかそうとしている。</u>			○	

## 8年美術評価規準表

観点	知識及び技能	思考力・判断力・表現力	批判	創造	論理	コミュ
学年の目標	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができる。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。				
	・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。	・感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などに表現する活動を通して、対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。		○		○
	・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	・伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ることができる。		○	○	○
		・伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ることができる。		○	○	○
		・伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、使う目的や条件などを基に、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ることができる。		○	○	○

# 評価規準表

## 8年美術評価規準表

観点	知識及び技能	思考力・判断力・表現力	批判	創造	論理	コミュ
学年の目標	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができる。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と連続された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。				
	・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。	・感じ取ったことや考えたことを基に、絵や彫刻などに表現する活動を通して、対象や事象を深く見つめて感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。		○		○
	・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	・伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた連続された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ることができる。		○	○	○
		・伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ることができる。		○	○	○
		・伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、使う目的や条件などを基に、使用者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ることができる。			○	○
		・美術作品などの見方や感じ方、自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について、美意識を高め、見方や感じ方を深めることができる。			○	○

# 単元構想図

時間

教科でフォーカスした「育てたい資質・能力」

チームワーク

学習において、自他のイメージや見相互の違いや共通する事柄を理解し、現や理解へと変化・発展させること

批判的思考力

自らのイメージや見方で考え方を明確に持ちながらも、他者との相違や共通性を論理的・感覚的に捉え、自身のより深く発展した制作や、課題理解に向けて生かすことができる。

欠)：扁獣戯画から学ぶ日本の「漫画的」表現技法

期から鎌倉時代の絵巻物「鳥獣戯画」から、線描写だけでストーリーや登場人物(動物)の表現していることを読み取り理解する。グループ活動を往還しながら、個々の発見を全体へと共有していく【チームワーク力】きの相違に興味を持ち、より深い作品理解へと発展させていく【批判的思考力】

○江戸時代後期の「北斎漫画」を取り上げ、「漫画」の歴史を俯瞰的に捉える。

②前時(第二次)：「現代の漫画」を読み解く(1)

まり利用せず、動きや情景描写によってストーリーを展開している作品としてり上げる。(※19世紀の中等アジアを中心にした物語)作品の「世界観」を読み解きながら、相互に意見・感想の交換をする【チームワーク力】苗の美しさ、人物動物の動きの変化などを読み取っていく【創造的思考】

や考え方を基にした「気づき」

産から「漫画作品」を鑑賞する

的に取り決め、皆の意見が交流で

①日本で伝統的に受け継がれてきた「漫画の表現」の歴史的流れや表現技法などを理解する。  
※批判的思考力の基となる基本的知識理解を深める。  
※自らの感性に基づき自分なりの見方考え方で作品を捉える力を育つことをねらう。

表現から読み解くと…

○森薫「乙嫁語り」を題材に、その作品のモチーフ・キャラクターの動きや描写を、コマ割りや構図、効果線の活用などにより、作者の表したかったことを、グループや全体活動を通じて、読み取っていく。  
○描かれているキャラクターや行動によって異文化に対する興味関心を持たせていく。

○個人では読み取り切れなかった情報も、より多面的多角的な見方で深めることができる。

○自分の解釈を大事にすることで、他者の考えの差が明確になり、そのことによって作品理解が深まる。

総合的な学習の時間で期待される姿

○8年生の総合的な学習のテーマの一つである「国際理解」では、言語的な理解と同時に視覚的情報によって、多くを読み取ることが重要になると考える。相手の文化や価値観や想いを読み取るために、自分なりのものの見方や考え方を持つとともに、会話の中からより広く深い読み取りや解釈を図るという往還の関係を大切にする姿勢を学ばせたい。

## 資質・能力を軸として一貫して

## 計画・指導・見取り・評価

## 本時の展開 本時の評価

分節	○生徒の学習活動	・指導者の支援及び留意点
着眼	○前の時間の振り返り、課題の「漫画」から個々が読み取った、作品表そうとしていることや表現の工夫の『気づき』を確認する。 【個人の活動】 ○グループごとに個々の『気づき』を紹介しあい、自他の『気づき』の相違点を整理する。 【3～4人グループの活動】	○グループの議論がスムーズに進むために前時の「プリント」から、自分の「気づき」を整理する。  ○「自分が面白い」と思ったところを起点にグループでの積極的な交流を図る。
分析	○グループごとに、作品の各ページ・各コマまたは全体を流れから、作者の「表したいこと」また「そのための工夫」を読み取り、まとめていきましょう。  ○題材「7P」を 2P・3P・2P に 3 分割し、割り当てのページを集中的に読み解く。 ＊記録と進行等の役割分担をしながら… 【3～4人グループの活動】 【Aタイプ】自身の気づきをグループ内で発表し他者の意見を聞き取ろうとすることができる 【Bタイプ】他者の発見や気づきを重視し、見方や考え方の相違を共感的に理解することができる 【Cタイプ】自他の気づきから、作者の表現の工夫や意図・想いを理解し、他者に説明できる。  【aタイプ】既習事項を基に、テーマとなる作品を論理的によりとることができる。 【bタイプ】自分なりの見方や考え方をもち他者との相違や共通性を理解することができる。 【cタイプ】自他の「気づき」の相違や共通性を基にしながら、作者の表現の工夫に対して自分なりの感想や見方考え方を深めることができる。	《読み取りのポイント》 ①登場人物の行動や考えや感情 ②場面の状況(時間や空間・文化) 《表現技法上の工夫》 (ア)コマの配置や大きさ (イ)効果線(集中線・スピード線等) (ウ)キャラクターの大きさや構図・面 (エ)キャラクターの形や動勢(緩急)  前の時間までに「鳥獣戯画」や「伴」 「北斎漫画」等を題材として扱った、 画的表現から学習した、作品読み取 表現上の工夫などを、想起させなが 議論を深めていく。  ○付箋などを利用しながら、気づい ながら作品分析を進める。
一般化	○グループで話し合った「作者が表したかったこと」そのための「表現上の工夫」を発表しましょう。  ○三分割した7ページを順に発表していく。発表の内容が、共通点があるものと、相違点があるものとを整理しながら、発表する。 ○他のグループに対する質疑応答を行い、作品解釈や表現の工夫を交流していく。 【全体での活動】 ○自分が「面白い」と思った事柄を整理・まとめる 【個人の活動】	○作品の同じ部分について考えたグループ相互に、同意点や相違点を意識させ、全体としての意見交流を図る。  ○題材として取り上げた漫画 7 ページ分の感想を交流し、作者の意図や工夫、漫画表現の良さについて考えさせる。

### 4 本時の評価

・既習事項を基に作品のテーマや表現の工夫に気づき、それらを整理しまとめている。 【知識・技能】

・自分なりの『気づき』を大切にしつつ、他者の意見を理解し多面的多角的に作品理解を深めている。

【思考・判断・表現】

・協同的に「漫画表現」のテーマやその工夫について議論を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】

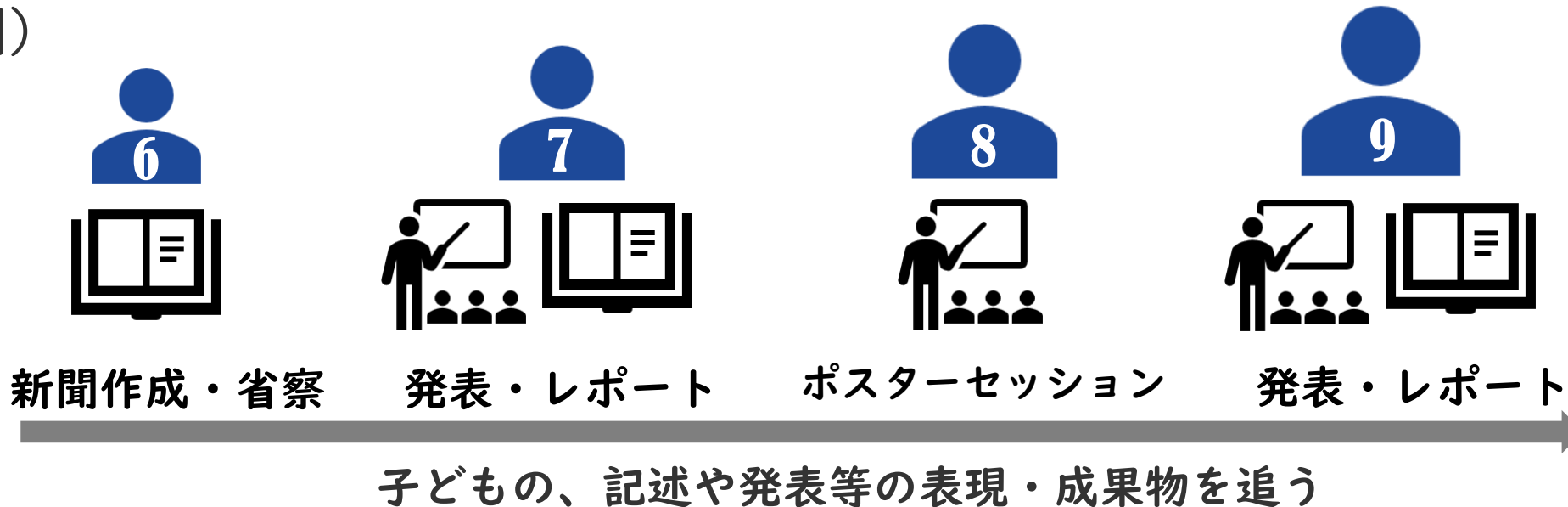
# 【質的な視点】資質・能力の活用・発揮場面での 経年的な見取り

- 抽出の子どもにフォーカスした個別적인見取り

⇒資質・能力を中核としたカリキュラムの評価につながる

⇒例年、表現方法が異なる中でどう資質・能力の活用・発揮を見取るのか

(例)





# 【質的な視点】

## 資質・能力の活用・発揮場面での経年的な見取り

### ● 抽出の子どもにフォーカスした個別的な見取り 生徒Aの具体

その上で、クラブチームでサッカーをしている一人であり、福島のスポンサーになった私が提案するのは、世界中の人たちに「福島」の素晴らしさを知ってもらうために Fukushima SDGs（福島が発信する持続可能な開発目標）を開催の理念としたサッカーワールドカップを開催することです。私は、今回の活動を通して出会った、広大な芝生と美しい花々に囲まれた自然環境の中で開催されるサッカーワールドカップを見てみたいです。実現への一歩として、まずアンダー世代の国際的なサッカー大会を開催し、世界中の子どもたちに「福島」と出会う機会をつくり、サッカーだけでなく、「福島」の素晴らしさを発信するサポーターになってもらいます。このようなつながりを広げていくことが、「福島」の未来を、そして私たちの未来を創造することにつながると考えます。



#### 6年生:SDGs『Do You Kyoto?』

##### 【京都の水】



僕がいま、何も感じずに使っている「水」に対しての**理解が深まり**、「水」を**大切にしようと思った**。(中略)自分達が良い生活をしていて、ゆうふくなことを**知った**。

##### 【京都の木の文化】

- (1)京都にある環境に配慮した建築物を**調べる**。
- (2)京都府産木材の活用状況について**調べる**。
- (3)木造建築が環境にやさしい理由についてくわしく**調べる**。

僕は今日の学習で、水の大変さを学びました。世界中は自分たちのように（やいちゃいね）水を出てくる人は少ないではなく、水くみに8時間も使う人がいるということを知りました。  
僕がいま、何も感じずに使っている「水」に対しての**理解が深まり**、「水」を**大切にしようと思った**。  
僕は最初、あの水を見た時に、しんぞうに感じていました。でも、その後の動画を見て、自分達が**良い生活をしていて、ゆうふくなことを知った**。

今後の課題  
（1）京都にある環境に配慮した建築物を調べる。  
（2）京都府産木材の活用状況について調べる。  
（3）木造建築が環境にやさしい理由についてくわしく調べる。

#### 7年生:『エネルギー～〇〇博士になろう～』

##### 【福島現地視察総括】



私はこれまで「福島」を、「支援が必要な、かわいそうなところ」と、どこかで思っていました。今回の活動を通して、実際に「福島」と出会い、そうではないことに**気づき**、**心が動かされました**。(中略)その上で、クラブチームでサッカーをしている一人であり、福島のスポンサーになった**私が提案**するのは、世界中の人たちに「福島」の素晴らしさを**知ってもらう**ためにFukushima SDGs(福島が発信する持続可能な開発目標)を開催の理念としたサッカーワールドカップを**開催することです**。



# 評価の視点 “質的な視点③”

## 資質・能力の活用・発揮場面での経年的な見取り

### ● 抽出の子どもにフォーカスした個別적인見取り 生徒Aの具体

#### 8年生:『日本のエネルギー課題』



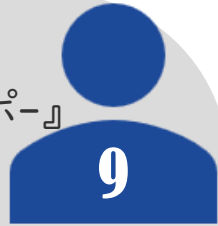
##### 【提言コンテスト】

私は学校で核のごみ問題に取り組んでいます。(中略)「核のごみ問題」を私の**友達や家族に理解してもらう**ために、まず、自分がこれまでこの問題に取り組んできたことを**伝えたい**と思います。(中略)自分の**体験を通して学んだことや、自分の思いや意見を伝えた上で、この問題に対する友達や家族の疑問や意見を聞き、対話したい**と思います。

私は学校で核のごみ問題に取り組んでいます。また、学校の先輩でもある兄がすでにこの問題に取り組んでおり、家族の話題になったり、関連する書籍があったりと、身近にこの問題がありました。

このような環境の中で育った私が、「核のごみ問題」を私の友達や家族に理解してもらうために、まず、自分がこれまでこの問題に関して取り組んできたことを伝えたいと思います。例えば、私が地層処分候補地となっている北海道の神恵内村に行き、実際に受けた説明や村の中での話し合いの内容を伝えたいです。また、青森の原燃施設に行き、学んだ地層処分に関連する工夫について伝えたいと思います。このように自分の体験を通して学んだことや、自分の思いや意見を伝えた上で、この問題に対する友達や家族の疑問や意見を聞き、対話したいと思います。

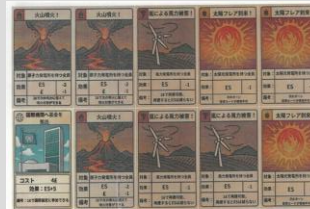
#### 9年生:『Energy×EXPO-78期生主催エネスポー』



##### (現在進行中)【課題設定時】

人文→**人間の根本的な疑問**。(Humanities)、**哲学、倫理**  
国境を越えた協調生徒は?→外交、地球規模の課題→**相手の立場**、協力し合える人たち 自ら課題に向かう**主体性**  
とは→**自分ごと化**→どんな姿を**めざすのか**

Memo)  
人文→人間の根本的な疑問。(Humanities)  
哲学、倫理  
国境を越えた協調生徒は? → 相手の立場  
外交、地球規模の課題  
⇒ 協力し合える人々  
自ら課題に向かう主体性とは?  
⇒ 自分ごと化  
⇒ どんな姿を自分自身でめざすのか



# 【質的な視点】

## 資質・能力の活用・発揮場面での経年的な見取り

### ● 抽出の子どもにフォーカスした個別的な見取り 生徒Aの具体

#### 6年生:SDGs『Do You Kyoto?』

##### 【京都の水】



僕がいま、何も感じずに使っている「水」に対しての**理解が深ま**

**り**、「水」を大切にする生活をしてい

【京都の水】

(1)京都府の環境に配慮した建築物を調べ。

(2)京都府産木材の活用状況について調べる。

(3)木造建築物は環境にやさしい理由について詳しく調べる。

【京都の水】

僕がいま、何も感じずに使っている「水」に対しての**理解が深まり**、「水」を大切にしようと思った。

僕は最初、あの水を見た時に、しんぞうに感じていました。でも、その後の動画を見て、自分達が**良い生活**をいいて、**ゆたかなこと**を知った。

【京都の水】

#### 7年生:『エネルギー～〇〇博士になろう～』

##### 【福島現地視察総括】



私はこれまで「福島」を「支援が必要な かわいそうなところ」と

実際に

**身近な社会の課題を**

**“解決したい”**

**(実現可能性△)**

目標)を開催の理念としたサッカーワールドカップを**開催する**

ことです。

その上で、クラブチームでサッカーをしている一人であり、福島のサポーターになった私が提案するのは、世界中の人たちに「福島」の素晴らしさを知ってもらうために Fukushima SDGs (福島が発信する持続可能な開発目標) を開催の理念としたサッカーワールドカップを開催することです。私は、今回の活動を通して出会った、広大な芝生と美しい花々に囲まれた自然環境の中で開催されるサッカーワールドカップを見てみたいです。実現への一歩として、まずアンダー世代の国際的なサッカー大会を開催し、世界中の子どもたちに「福島」と出会う機会をつくり、サッカーだけでなく、「福島」の素晴らしさを発信するサポーターになってもらいます。このようなつながりを広げていくことが、「福島」の未来を、そして私たちの未来を創造することにつながると思います。



# 評価の視点 “質的な視点③”

資質・能力の活用・発揮場面での経年的な見取り

- 抽出の子どもにフォーカスした個別的な見取り 生徒Aの具体

8年生:『日本のエネルギー課題』

【提言コンテスト】

身近な社会の課題を  
“解決したい”  
(実現可能性○)

もある兄がすでに  
あったりと、身近  
家族に理解しても  
らうために、まず、自分がこれまでこの問題に関して取り組んできたことを伝えたいと  
思います。例えば、私が地層処分候補地となっている北海道の神恵内村に行って、実  
際に受けた説明や村の中での話し合いの内容を伝えたいです。また、青森の原燃施設に  
行って学んだ地層処分に関連する工夫について伝えたいです。このように自分の体  
験を通して学んだことや、自分の思いや意見を伝えた上で、この問題に対する友達や家  
族の疑問や意見を聞き、対話したいと思います。

9年生:『Energy×EXPO-78期生主催エネスポー』

(現在進行中)【課題設定時】

社会の課題を  
“どう解決すべきか”  
(多角的視点・自分事)

自ら課題に向かう主体性とは？  
→ 自分ごと化  
⇒ 他人の姿を自分事とする



# 研究の手応えと展望

---

- 主体的な学びに関するアンケート等の量的視点における評価の上昇
- 各教科等における生徒の姿、質的視点における見取りからも、義務教育段階における資質・能力育成の授業・カリキュラムの再構築について評価できる
- 資質・能力をベースとし、9年間かけて子どもの学びに対して向き合いやすい  
特に本校は資質・能力を複雑化・具体化していることで、より解像度の高い指導や評価が期待
- 子どもや保護者が学校に求めている要素とのギャップ、指導者の専門的知見技能の必要性

子ども自身が学びの実感や有意性の価値が高まるような工夫が必要か  
“子どもを主役とした学び”の具体化や一般化



## 引用文献・参考文献

- 1) 足立彰、「中等教育における『造形あそび的活動』を起点とした授業展開の可能性について」、日本美術教育学会学術研究大会三重大会（2018）
- 2) 安彦忠彦編著、「子どもの発達と脳科学～カリキュラム開発のために～」、勁草書房（2012）
- 3) 安彦忠彦著、『「コンピテンシー・ベース」を超える授業づくり～人格形成を見すえた能力育成をめざして～』、図書文化（2014）
- 4) 安彦忠彦編、「新版カリキュラム研究入門」、勁草書房（1985）
- 5) 石井英真著、「授業改善8つのアクション」、東洋館出版社（2018）
- 6) 伊藤崇達、神藤貴昭、「自己効力感、不安、自己調整学習方略、学習の持続性に関する因果モデルの検証」、『日本教育工学雑誌』27巻4号収録、2004
- 7) 石井英真著、「授業づくりの深め方ー「よい授業」をデザインするための5つのツボー」、ミネルヴァ書房（2020）
- 8) 井庭崇 編著「クリエイティブ・ラーニング 創造社会の学びと教育」、慶應義塾大学出版会（2019）
- 9) 今西竜也、他、「英語教育における小中高の接続と連携」、関西英語教育学会研究大会（2015）
- 10) 今西竜也、「小中一貫校におけるモジュール学習について～指導者および学習環境に配慮した教材の開発～」、日本児童英語教育学会関西支部英語活動研究会（2015）

## 引用文献・参考文献

- 1 1) H・リン・エリクソン、ロイス・A・ラニング、レイチェル・フレンチ著、遠藤みゆき・ペアー  
ード真理子訳「思考する教室をつくる 概念型カリキュラムの理論と実践」、北大路書房（2020）
- 1 2) OECD（経済協力開発機構）、「THE FUTURE OF EDUCATION AND SKILLS Education in  
2030」
- 1 3) 大坪 治彦、奥山 茂樹、「小中一貫教育における効果的な教育課程編成のあり方：義務教育学  
校制度創設との関係と鹿児島県における課題」、鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要特別号  
6(2016)
- 1 4) OECD教育研究革新センター 編著、「創造性と批判的思考 学校で教え学ぶことの意味はなに  
か」、明治書店（2023）
- 1 5) 外務省、「JAPAN SDGs Action Platform」
- 1 6) 樺山敏郎 著「個別最適な学び・協働的な学びを実現する「学びの文脈」」、明治図書  
（2022）
- 1 7) 國原信太郎、「『句会』を通して養う論理的批評力と思考力」、京都教育大学国文学会誌45  
号（2018）
- 1 8) 小塩真司著・編集「非認知能力：概念・測定と教育の可能性」北大路書房（2021）
- 1 9) C.ファデル、M.ビアリック、B.トリリング著、岸学監訳「21世紀の学習者と教育の4つの  
次元 知識，スキル，人間性，そしてメタ認知」、北大路書房（2016）
- 2 0) 白井俊著、「OECD Education2030 プロジェクトがえがく 教育の未来」、ミネルヴァ書房  
（2020）

## 引用文献・参考文献

- 2 1) ジョン・ハッティ著、山森光陽監訳「教育の効果 メタ分析による学力に影響を与える要因の効果の可視化」、図書文化（2018）
- 2 2) 田中治彦、奈須正裕、藤原孝章、「SDG s カリキュラムの創造」、学文社（2019）
- 2 3) 谷口和成、上田綾希子、野ヶ山康弘、「科学推論課題(SRTs)による児童・生徒の認知レベルの評価と課題」、日本物理学会講演概要集66(1-2)、428、（2011）
- 2 4) 田村学著、「「深い学び」を実現するカリキュラム・マネジメント」、文溪堂（2019）
- 2 5) 田村学 編著、紫胡の会著、「生活・総合 資質・能力の育成と学習評価」、東洋館出版社（2022）
- 2 6) チップ・ウッド著、「成長のものさし」、図書文化（2008）
- 2 7) 中山芳一著、「教師のための「非認知能力」の育て方」、明治図書（2023）
- 2 8) 西岡加名恵、石井英真著、「教科の『深い学び』を実現するパフォーマンス評価」、日本標準（2019）
- 2 9) 野ヶ山康弘、河合晋司 、小西かおり、竹間光宏 、小澤雄生 、垂井由博、「資質・能力を育成する義務教育におけるカリキュラム・マネジメントー小学校技術科の位置づけと具体的な実践例ー」、日本義務教育学会紀要 4 号p57-62（2 0 2 1）
- 3 0) 野ヶ山康弘、岡田努、「生徒の意欲を喚起する授業デザインの構築と検討 1 ～福島と共に学ぶ放射線教育～」、日本科学教育学会年会発表論文集（2018）

## 引用文献・参考文献

- 3 1) 野ヶ山康弘、谷口和成、「粒子概念の系統的カリキュラムに関する検討」、京都教育大学教育実践研究紀要17号p105-115 (2017)
- 3 2) 野ヶ山 康弘、谷口 和成、伊藤 崇達「生徒の意欲を喚起する授業デザインの構築Iー震災復興期の福島から学ぶー」京都教育大学教職キャリア高度化センター教育実践研究紀要 第1号pp 1 0 1－1 0 9 (2 0 1 9)
- 3 3) 野ヶ山康弘、谷口和成、野原大輝、辻秀人、垂井由博、岡本幹、「持続可能な社会を目指して：附属間異校種連携による学びの保障」、日本教育大学協会研究年報 3 9 号p.149-156 (2021)
- 3 4) 藤原さと著「探究する学びをつくる：社会とつながるプロジェクト型学習」、平凡社 (2020)
- 3 5) 坂東舞、野ヶ山康弘、小西亜弥、谷口和成、「低学年における認知促進プログラムに関する研究 1－英国 C A S E プログラム『Let's Think!』の実践－」、日本理科教育学会近畿支部大会 (2017)
- 3 6) 藤岡達也 編著、「よくわかるSTEAM教育の基礎と実例」、講談社 (2022)
- 3 7) 平田豊誠、小間翠、野ヶ山康弘、小川博士、「電流概念と電気エネルギー概念の区別を実感できる電気回路モデルの開発と効果検証」、日本理科教育学会全国大会 (2017)
- 3 8) 文部科学省、「小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引」
- 3 9) 文部科学省、「新学習指導要領」(平成29年3月公示)
- 4 0) 文部科学省、「小・中学校新教育課程説明会(中央説明会)・総則・関係資料」



## 研究協力者

国語	京都教育大学 教育学部国文学科	天野 知幸 先生
算数・数学	京都教育大学 教育学部数学科	黒田 恭史 先生
	大阪教育大学 教育学部 特任講師	葛城 元 先生
社会	京都教育大学 教育学部社会学科	小栗 優貴 先生
理科	京都教育大学 教育学部理学科	谷口 和成 先生
外国語 (英語)	京都教育大学 教育学部英文学科	西本 有逸 先生
	京都教育大学 教育学部英文学科	アンドリュー・オーバマイヤー 先生
保健体育	京都教育大学 教育学部体育学科	小山 宏之 先生
	京都教育大学 教育学部体育学科	大島 秀武 先生
図工・美術	京都教育大学 教育学部美術科	日野 陽子 先生
技術	京都教育大学 教育学部産業技術学科	原田 信一 先生
道徳	京都教育大学 教育学部教育学科	神代 健彦 先生
家庭	京都教育大学 教育学部家政科	湯川 夏子 先生
音楽	京都教育大学 教育学部音楽科	檉下 達也 先生
特別支援	京都教育大学 総合教育臨床センター	門下 祐子 先生
生活・総合的な学習の時間	東京大学大学院 情報学環・学際情報学府 准教授	開沼 博 先生

# 研究開発学校運営指導委員会委員

筑波大学  
人間系教育学域 教授

樋口 直宏 先生

京都大学大学院  
教育学研究科 准教授

石井 英真 先生

兵庫教育大学大学院  
学校教育研究科 准教授

安藤 福光 先生

京都教育大学  
理事・副学長

相澤 伸幸 先生

京都教育大学  
副学長・附属学校部長

田中 里志 先生

京都教育大学  
教職キャリア高度化センター教授

樋口 とみ子 先生

京都教育大学  
教職キャリア高度化センター教授

山下 和美 先生

京都教育大学大学院  
適合教職実践研究所 准教授

徳永 俊太 先生